

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		四天王寺和らぎ苑 児童発達支援				公表日	2026 年 4 月 20 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	あそびの内容や利用人数によって、あそび環境づくりを行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	常に安全で安心できる衛生的な環境を整えることや、季節を感じられる装飾や活動に合わせた環境づくりに努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		半期に一度、PDCAサイクルでの自己評価を行う中でも、個々での取り組みや、チームとしての役割について、業務改善に繋がる計画が個々で意識できるようにします。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎月の会議を実施している中で、必要に応じて職員からの意見を管理者に相談し、改善してもらえる機会があります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	2025年度は大阪府からの運営指導を受けて、評価を頂き、業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	月に一回、児童発達支援事業に関与する多職種（保育士・療法士・看護師等）が集まり、通園されている児童について個別カンファレンスを通じて、外部のスーパーバイザーにも参加してもらい、スキルアップ研修を行っています。また外部の研修会の案内も多く、積極的に参加をしています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	会議等にて共有する機会があり、職員全員で計画に沿った支援を共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		日々の活動内容について職員間で共有して計画を実行することや、イベントにおいてもチームで話し合っ内容を決定しています。個々で役割をもちながら、担当者だけでなくチームとして実行できるよう努めていきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	個々に応じて繰り返しの必要な活動がある中でも、季節感を取り入れることや、利用頻度に応じて内容を変化させるようにしています。また、個々の発達や身体的な特徴に合わせて、あそびの内容を工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	必ず毎朝、開始までに職員で集まり、今日のあそびの内容や個別対応、留意点などについて確認する時間をもち、情報共有を行ってから実施しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援実施直後や業務終了前、または翌日の朝礼にて振り返りを含めた情報共有を行い、必要に応じて時間を設けて実施しています。	支援終了後に関わった職員全員での振り返りは業務上困難ではありますが、次の日や別の機会で気になる点や気づいた点については、職員間でやりとりをして、また全員に共有するようにしています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日記録時間がスケジュールに組み込まれていて、日々の子どもの様子や現場の出来事を記録しています。記録を通じて、活動内容の共有や体調管理にもつなげています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	基本は親子通園である為、保育場面において、その都度必要に応じた支援を保護者と共有することができ、適切な見直しにつなげています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて適切に各関係機関との連携を行っています。当施設においては児童発達支援事業に関わるリハビリ・看護・医師等とは特に連携が深く、発達支援と健康管理を行うことができています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	これまで様々な児童を個別対応して、地域に向けた移行支援を行ってきました。その中で得た関係機関との繋がりから、今度も継続して適切な支援を行っていきます。	基本外部関係機関との情報共有に関しては、担当者間での連絡となる為、担当者以外の職員に対しての情報共有ができるようにして、よりチームとして連携していきたいと考えています。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	2025年度は、就学児を対象とした個別カンファレンスを実施し、現在の様子と今後の支援についての情報共有を行いました。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					当地域の児童発達支援センターへ移行する児童もいる中で、保護者を介しての情報共有等を行っています。今後必要に応じて、連携を深めていけるよう努めます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	毎月のイベントでは、地域の児童施設に通園している、外来リハビリ利用児童なども含めて、各ご家庭やご利用者同士が共に活動参加できるようにしています。	地域の保育園や幼稚園との交流機会について、2026年度は具体的に交流機会がもてるよう計画を進めていくことを検討しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	基本親子通園においては、日々のあそびの中や生活、かかわりの場面で、発達支援を共有しています。また、個々に応じて、必要な情報(ハンドブック提供など)を行うようにしています。	個別での対応と、全体に向けて情報提供する場面をもち、職員も含めて知識を深めていきたいと考えています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	日々の保育場面、休憩時間から、保護者同士のコミュニティづくりにつながる時間を設けています。また、毎月のイベントでは、保護者ときょうだいも参加でき、交流を深めることができています。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	キッズパークでは、地域の事業所や関係機関とも協力し、広く地域の利用者が参加できるイベントを実施し、催しやゲーム・福祉機器の紹介など行っています。また、地域のイベントに、施設職員が参加することで交流をもっています。	職員間で認識を共有していきながらも、地域へのアプローチを深めて行きます。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	設全体で各種マニュアルは策定され、委員会による見直し等を行い、法的研修として必ず職員は年間決められた研修に参加しています。緊急時の対応についての研修では、講義・実技の訓練を全職員が研修を受けて、個々の対応力を高めています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画（BCP）を策定し、2025年度は5月イベントで「災害対策」をテーマに災害対策グッズの紹介や全体での避難訓練を実施することや、キッズパークで外部講師による講義など実施しました。毎月の会議等でも、避難時の対応や設備点検などについて、職員間で共有を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	給食提供時には、食物アレルギーの検査結果をもとに提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故発生に至るまでの、インシデントレポートを作成して、事故発生を未然に防ぐ対策を行っています。また、事故報告により、発生状況・直後の対応と結果・具体的対策を上げて、必要に応じて要因分析を施設全体で検討する対策を講じています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 四天王寺和らぎ苑 児童発達支援

公表日 2026年 4月 20日

回収数 8名

利用児童数 9名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	25%	13%	50%	13%		毎月のイベントでは、地域の児童施設に通園している、外来リハビリ利用児童なども含めて、各ご家庭やご利用者同士が共に活動参加できるようにしています。地域の保育園や幼稚園との交流機会については2026年度に、具体的に交流できる計画を検討しています。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	88%	0%	0%	13%		親子通園を行ってもらうことで、保護者同士が交流できる機会を設けています。また、毎月のイベントでも、保護者同士の交流や、きょうだい同士が交流できる様々なあそびの機会を設けています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63%	0%	0%	38%	施設全体で各種マニュアルは策定され、委員会による見直し等を行い、法的研修として必ず職員は年間決められた研修に参加しています。緊急時の対応について、個別で対応できるよう、情報共有することや、ご利用者様に対し必要に応じて、情報提供行っていき、広く周知して頂く為の機会を設けていけるようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	0%	0%	13%	2025年度は5月イベントで「災害対策」をテーマに災害対策グッズの紹介や全体での避難訓練を実施することや、キッズパークで外部講師による講義など実施しました。今後も、災害に対するの知識と意識が深まるよう努めます。施設内で定期的に避難訓練を実施していますが、全員に周知できるように、ご利用日でない場合も個別対応して、緊急時の対応について共有できるようにします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75%	0%	0%	25%	事故発生に至るまでの、インシデントレポートを作成して、事故発生を未然に防ぐ対策を行っています。また、事故報告により、発生状況・直後の対応と結果・具体的対策を上げて、必要に応じて要因分析を施設全体で検討する対策を講じています。事故等発生した場合に即座に適切な対応し、安心できる環境づくりに努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	88%	0%	0%	13%	子どものたちの気持ちに寄り添い、少しでも安心できる環境になるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	88%	0%	0%	13%	「たのしい」と思える瞬間が増える関わりや、あそびの提供に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	ご満足いただけていること、うれしく思います。今後とも個々に応じた支援を行い、お子様も保護者様も、より満足できる支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	四天王寺和らぎ苑 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 14日		令和8年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 14日		令和8年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門職による発達支援	保育士・療法士(PT/OT)・看護師による専門職が配置され、発達支援・育児支援・地域移行支援において、それぞれの専門職の視点で、適切な支援を実施しています。様々な特色をもった子どもたちがいる中で、個々に応じた支援を計画し実行しています。	各専門職同士の連携を深めていく為、個別のケースカンファレンスを行いながら、個々の理解を深めていき、各専門職の特色を活かした支援が実施できるようにします。また、その中で、発達支援・育児支援・地域移行支援において、各職種での役割を認識し、児童発達支援の役割について共有し、適切な支援につなげていきます。
2	関係機関との連携	重度な障害をもつ児童にとって、身体的な不安や健康面での不安がある中で、各関係機関との連携が必要になります。中でも、医療的な支援が必要な児童が多い為、リハビリテーション、歯科、小児外来、訪問(リハビリ・看護)と連携ができ、支援を充実させることができます。	関係機関との連携を深めていき、安心・安全な環境づくりに努めます。個々の発達や健康状態に合わせて、情報を得ながら、その時々に必要な支援を提供できるようにします。また、様々な情報を提供することで、本人や保護者自身が必要に応じて選択できるようにします。
3	つながる支援	当施設においては、様々な事業展開を行っていることもあり、保育所等訪問事業、居宅訪問型児童発達支援事業、での個別対応や移行支援ができること、就学後にも放課後等デイサービス事業、高校卒業後には生活介護事業へと、つながりをもった支援を提供することができます。	横のつながり、縦のつながりと、切れ目のない支援になるように情報共有を行っていき、必要な時に必要な支援につながるようにします。また、ご家庭の状況に合わせて、適切な支援が行えるように、保護者への情報提供を行い、適切な移行支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対策・非常時等の対応についての周知	施設全体で各種マニュアルは策定され、委員会による見直し等を行い、法的研修として必ず職員は年間決められた研修に参加していること、緊急時の対応についての研修では、講義・実技の訓練を全職員が研修を受けて、個々の対応力を高めていることなど行っているが、周知につながる発信が不足しています。	例年実施しているイベントで「災害対策」についての発信が少しずつ、周知につながってきている状況にはなっているので、引き続きイベントを通じて情報提供できるようにしていくこと、定期的に保護者への情報発信をするようにします。
2	地域の保育所や認定こども園・幼稚園との交流	感染対策等と環境変化に適応が必要になることや、個別のプログラムが優先される為、実施計画が困難となっています。しかし、その中でも環境を整えて、相互で関係づくりを行うことに対して、積極的に取り組むことが出来ていませんでした。	個々への配慮ができる準備を行いながらも、交流機会を設けることが可能な施設と、関係性づくりをしていきます。具体的な交流方法や、留意点など事前に整理し計画することで、地域施設が受け入れやすい状況をつくっていきます。
3			